

常任委員会だより

総務常任委員会

米崎 孝 委員長

NPOの市民税減免、平成二十年から

本委員会に付託された議案五件については、いずれも原案のとおり可決すべきものと決した。

○平成十九年度一般会計補正予算（第二号）については、歳入歳出とも八億六千四百二十八万二千円の追加補正であり、経費の所要見込額を計上するもの。

○小松島市市税賦課徴収条例の一部を改正する条例については、NPO（特定非営利活動法人）が営利を目的としない団体なので、課税される市民税を減免の対象とするための改正。

○小松島市国民健康保



の改正。

○小松島市防災会議条例の一部を改正する条例については、防災会議委員の定員を二十五人

から三十人以内に変更するもの。

○小松島市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例については、国家公務員等の給与改定に準じて、市職員との給与及び勤勉手当等の改定を行うもの。

文教厚生常任委員会

木村 文彦 委員長

自動体外式除細動器を小学校に寄付

○平成十九年度一般会計補正予算（第二号）については、歳入歳出とも八億六千四百二十八万二千円の追加補正であり、経費の所要見込額を計上するもの。

○小松島市市税賦課徴収条例の一部を改正する条例については、NPO（特定非営利活動法人）が営利を目的としない団体なので、課税される市民税を減免の対象とするための改正。



本委員会に付託された議案五件については、平成十九年度小松島市老人保健医療事業特別会計補正予算、小松島市重度心身障害者に対する医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例についてなどを慎重に審査した結果、五件すべてを原案どおり可決した。また、申請七件については、他市の状況など調査し慎重に議論を重ねたが、七件とも予算財源の問題などクリアすべき課題が多い



産業建設常任委員会

井内 建治 委員長

競輪事業使途不明金 損害賠償請求への異議申立て棄却に同意

本委員会は、今期定例会に付託された平成十九年度一般会計補正予算（第二号）を軸に、諮問と五議案を審査し、いずれも原案のとおり同意、可決すべきものと決した。

○諮問第一号 元職員への損害賠償請求に対する異議申立てに係る諮問について
諮問の概要については次のとおり。
異議申立の趣旨及び理由
(一) 趣旨 小松島市長が平成十九年九月二十八日付けで、異議申立人に行った競輪事業資金使途不明金の損害賠償請求は不当である。
(二) 理由 自分は組織の中の一歯車に過ぎないので、全責任を負う理由がない。

○市道の路線の認定について
○市道の路線の変更について
○工事請負契約の変更について
○字の区域の変更について

本委員会は、今期定例会に付託された平成十九年度一般会計補正予算（第二号）を軸に、諮問と五議案を審査し、いずれも原案のとおり同意、可決すべきものと決した。

○諮問第一号 元職員への損害賠償請求に対する異議申立てに係る諮問について
諮問の概要については次のとおり。
異議申立の趣旨及び理由
(一) 趣旨 小松島市長が平成十九年九月二十八日付けで、異議申立人に行った競輪事業資金使途不明金の損害賠償請求は不当である。
(二) 理由 自分は組織の中の一歯車に過ぎないので、全責任を負う理由がない。

○市道の路線の認定について
○市道の路線の変更について
○工事請負契約の変更について
○字の区域の変更について

市政 Q & A

木村 文彦 議員

- 1 幼稚園再編に対する提言書について
- 2 周辺自治体との業務の提携について

北野 恒男 議員

- 1 高瀬舟の記念碑建立について

大木 進 議員

- 1 妊婦無料健診の受診回数拡大について
- 2 AEDの今後の活用について
- 3 いじめの問題について

井村 保裕 議員

- 1 放課後子どもプランについて
- 2 学童保育について
- 3 自衛隊の騒音調査について
- 4 障害者福祉について

宝 覚 議員

- 1 高齢者医療制度について
- 2 妊婦健診について
- 3 地産地消と学校給食について

濱田 保徳 議員

- 1 食の自給率向上への取り組みについて
- 2 食の安全について
- 3 農業所得の向上への取り組みについて

米崎 孝 議員

- 1 中・高一貫教育の県南部への導入について
- 2 日本製紙小松島工場の閉鎖について

佐野 善作 議員

- 1 認定こども園について
- 2 学校二学期制について
- 3 第5次総合計画について

高木 幸次 議員

- 1 坂野中学校建て替え及び坂野小・中学校のプール建設について
- 2 坂野町ミゾロ住宅改修工事について
- 3 坂野、立江に置いてある土砂問題について

池淵 彰 議員

- 1 防災対策について
- 2 幼稚園・保育所(園)の今後について

幼稚園再編に伴う提言を受けての考え方は

高瀬舟発着場跡に記念碑建立を

翔政クラブ 木村 文彦 議員

みらいの会 北野 恒男 議員

答 提言を尊重し、よりよい
就学前教育をめざす

答 史料を精査し、記念碑
建立について検討する



木村 先月、小松島市の幼稚園、小学校、中学校の再編のあり方検討委員会から、中間報告が教

育委員長あてに提出された。出された提言書の中

北野 勝浦町の横瀬橋を渡った西詰めに、高瀬舟「浜」と題して建立され

た記念碑がある。高瀬舟は近世後期から

身、及びあり方検討委員会のメンバーの方々の就学前教育における、理解度と重要性をどのような視点でとらえているのか。また、提言書を受けた教育委員会が、今後幼稚園教育のあり方をどう議論していくのか。

教育委員長

幼稚園は義務教育の基盤をつくる大切な場所であると考えている。教育委員会としても、この提言書を尊重しつつも、今後子どもたちにとって何が重要かを考え、少子化が進む中でよりよいものをつくっていくかなければならない。

地域活性の面からも、幼稚園、学校の存在は非常に大きいものだとして認識している。よりよい就学前教育として、幼稚園教育に今後取り組んでいきたい。

木村

幼稚園教育の重要性や地域社会における幼稚園教育の大事さを、教育委員長がそのようにとらえているのであれば、提言書の中にある幼稚園

の再編や、幼稚園の統廃合をどのような観点で考えるのか。

教育長

幼稚園教育の重要性、特に就学前教育の大切さを考えると、少

子化の中で、集団の中で子どもたちを鍛えていくということができない。よい教育はどうあるべきかを、提言書の意見を尊重して考えていかなければならない。

木村

提言書のメンバーの方々に決して異論を挟むわけではないが、メンバーの方々が、現在幼稚園に携わっている教育の現場（園の先生）、保護

者の方々、及び幼稚園児を理解し検討を重ねてきたのか。提言書の前文に、市長のコメントを受けて「園児数の少ない幼稚園については今後統廃合を含めた考え」とあるが、最初から幼稚園の休園や統廃合ありきの検討をしてきたのではないのか。



北小松島幼稚園

教育長 教育委員会としては、子どもたちの教育方法はどれが一番よいかを念頭に、メンバーの方々にお願いした。

木村

子どもたちを行政改革の犠牲にしてはならない。あり方検討委員会のメンバー構成を再編して、真に現在幼稚園に携わる方々が幼稚園の将来を決めるべきと考えるが。

教育長

新しい検討委員会を立ち上げることは現在考えていないが、地域の方々に特に尊重して、十分に意見を聞いて、幼稚園のあり方を考えていきたい。

勝浦川上流と下流をつなぐ重要な交通運輸機関として、この流域の往古は舟運によって開けた。高瀬舟は、上流は横瀬まで通い、徳島方面へは木炭・薪・米・麦・蜜柑・柿・椎茸・和紙・太布（たふ・木の皮で織った布）・茶などを積み出し、徳島からの帰り船で反物・素麺・油・塩・海産物・酒などを運んだと記録されている。

田浦町井口は揚げ荷と積荷、小松島、徳島の物資の集積地として重要な役割を果たし、賑わっていた。徳島へ行くには、勝浦川から千切川と園瀬川を通るが、園瀬川は満潮でなければ通れなかった。また、稲作期は水田用に水が大量に必要なため、井口堰で堰きとめられ、下流には高瀬舟が行けなかったために、小松島の荷物と徳島の荷物を井口で降ろし、ここで荷車に積みかえ、小松島と徳島に運んでいたのである。



高瀬舟発着場跡（北野政美氏提供）

これらの勝浦川の高瀬舟に関する史料が、上流の勝浦町では、町史に記載されているが、小松島市においては、「小松島市史」、また、「小松島市史風土記」に、この歴史的な大事な事項がどこにも書かれていない。今、勝浦川の高瀬舟について、何らかの形で残しておかなければ、この貴重な歴史が消えてしまう。

勝浦川の上流と下流を結ぶ、重要な交通運輸機関、また、川の港として栄え賑わっていた、この貴重な歴史的遺産を後世に残すために、田浦町井口の高瀬舟発着場跡に、記念碑の建立が必要と思うが市の考えは。

教育次長 高瀬舟が生活の基盤としていた事実、大変貴重なことであるが、小松島市史などに記載されていないのが現状である。史料を十分精査し、市文化財保護審議委員会に報告し、地元の見解などを聞き、議員指摘の方向で検討していきたい。

妊婦無料検診の拡大について

公明党 大木 進 議員

答 前向きに検討したい

大木 妊婦が受けるべき健康診査の回数は十四回程度で、出産を迎える上で最低限必要な妊婦健康診査時期及び内容について、五回程度の公費負担が原則であると厚生省からの公費負担のあり方が示されている。本市としても五回程度の実施をすべきだと思うが、どうか。

保健福祉部長 妊婦健康診査は、少子化対策の一环として、妊娠中の検診費用の負担軽減が求められている。健康な妊娠、出産で最低限必要な妊婦検診は五回程度と考えられることから、公費負担の回数増は、財政状況の

厳しい中であるが前向きに検討したい。

AEDの講習会の計画は

大木 AEDの設置は、市の予算措置と一般市民の貴重な御寄付で、十二月中には小・中学校全校に設置できると伺っている。私もAEDの講習会に参加したが、三時間の実施訓練も受け、実り多い講習会であった。学校と地域で連携して講習会をする計画があれば聞かせてほしい。

の講習会に参加したが、三時間の実施訓練も受け、実り多い講習会であった。学校と地域で連携して講習会をする計画があれば聞かせてほしい。



教育次長 小学校は、教職員の講習会は既に実施済みで、学校と地域との連携しての講習会は、南小松島小学校で冬休み期間中に、スポーツ少年団の少年野球、サッカーの保護者等やママさんバレー等々で講習会を開くと聞いている。今後も学校

職員講習会は既に実施済みで、学校と地域との連携しての講習会は、南小松島小学校で冬休み期間中に、スポーツ少年団の少年野球、サッカーの保護者等やママさんバレー等々で講習会を開くと聞いている。今後も学校

放課後子どもプランの運営委員会をどうするのか

みらいの会 井村 保裕 議員

答 平成二十年五月末に運営委員会を立ち上げられるよう努力する

井村 小学校区で、放課後の子どもを安全で健やかな活動場所を確保する放課後子どもプランの事業案が策定できていないが、小松島市だけ運営委員会が設立されていないが、今後どうしていくのか。

教育次長 地域・学校・PTA等と協力し、学童クラブと連携、調整をしながら、平成二十年五月末に立ち上げられるように努力する。

井村 共働きや一人親家庭の小学生を放課後に預

ける学童クラブは、大変ありがたい制度だが、南小松島学童保育クラブは現在大変過密化している。今後どう改善するのか。

保健福祉部長 過密化に対する子どもたちの情操作面への配慮、安全性の確保の観点から、将来分割化することが望ましいと考える。

井村 和田島学童保育クラブは現在仮住まいで、交通量も多く、駐車場もないので、交通事故を心配する。安全で環境のよ



保健福祉部長 学校敷地内の独立専用施設にするなどの案を運営委員会

決定していただき、運営委員が直接関係機関に文書等で要請、要望する手順となる。

井村 自衛隊の騒音調査が平成十九年九月に和田島小学校であったが、その調査結果はどうだったのか。また、基地周辺整備事業で民家に対する騒

自衛隊の騒音調査について